

市制30周年記念に

号888第

日光キスゲ(市の花)と いちい(市の木)を選ぶ



▲市の花に選ばれた日光キスゲとキスゲの群落で知られる霧降高原。

◀市の木に選ばれた“いちい”



キャッチフレーズは

『あふれる旅情 ライブ日光』

市は、市制施行三十周年記念の一つとして「市の花」「市の木」

ら募集し、選定を進めていまして、二月三日開いた選定審査委員会(委員長、野尻惣一郎市

教育委員長)で、市の花に「日光キスゲ」、市の木に「いちい」を選びました。

市の花に選ばれた日光キスゲは、霧降高原に群生し、六月から七月にかけて黄色い花を咲かせる多年草。古くから市民に親しまれている美しい花で、日光を代表するふさわしい花として選ばれました。

いちいは、日光に古くから自生している常緑高木で、品位、生命力に富み、材は優美で(笏)しゃく、細工物に用いられるほか、庭木、盆栽にも利用されています。二荒山神社中宮祠の境内には、樹齢千百年と推定されている古木もあり、県の天然記

念物に指定されています。

日光地方では、このいちいをスオー、スオーノキ、ヤマスオーなどとも呼んでいます。

一方、「観光地日光」のイメージアップと日光の飛躍が期待できるキャッチフレーズには、四十五点の応募の中から、所野の神社職員篠崎和孝さん(二九)の「あふれる旅情 ライブ日光」が優秀賞に選ばれました。このほか、佳作には野口の主婦江袋利子さん(四二)の「迎える笑顔 広がる自然、伸びる日光」と、御幸町の飲食業佐々木真徳さん(三五)の「ふれてみませんか わびとさび」の二点が選ばれました。